市数研だより

平成23年8月5日発行

NO. 2

熊本市中学校数学教育研究会

長かった(はずの!?)夏休みも終わり、いよいよ二学期が始まります。夏休みはいかがでしたか。７／２７～２９には九数教(長崎)大会、８／３～４には県数合宿研での数学の友・計算カードの改訂作業などがありました。数学を志す他の先生方との意見交換や交流をさせていただき、大変実りの多い、充実した夏休みになりました。詳しい内容は、９月の市数研定例会にでも、お伝えできればと思います。

それでは、７月に江南中図書室で行われた「第２回市数研定例会」の様子をお伝えします。通知表などの事務処理等が重なった時期で、参加を見合わせた方もいらっしゃったと思いますが、熊本大学から伊藤先生をお迎えしての総勢１４名での研究会となりました。遅くなりましたが、どうぞ御一読ください。

１．市数研会長の増田校長先生（東野中）のあいさつ

一学期も残りわずかとなり、各学校でもいろいろとお忙しい中だとは思いますが、この定例会でたくさんのことを学んでいただけたらと思います。また、来年の県大会に向け、この夏休みを有効に使って発表者を中心に準備を加速していただければと思います。頑張っていきましょう。

２．数学ミニ講座

私、大木（五霊中）が数学ミニ講座として、つたない実践例ではありますが、以下の内容で先生方に紹介させていただきました。

（１）自己評価シートについて
（２）数学と生活の場を結びつける授業　～「平方根の値」と工具さしがね～
（３）回転体指導のちょっとしたアイデア（百円ｼｮｯﾌﾟは掘り出し物がいっぱい）
（４）封筒から立体へ（正四面体、正六面体、正八面体）、正十二面体の寄せ書き
（５）ゆうチャレンジ問題から（空間図形「立体の体積」）
（６）確率　～生徒が夢中になる試行実験の仕掛け～

自己評価シートについては、前回の数学ミニ講座で話題になりましたので、私の場合ということで紹介しました。また、（２）では、「直径２０cmの丸太からできるだけ大きい正方形になるように角材を切り取りたい。切り口の正方形の１辺の長さはいくつか」という課題で授業したことを紹介しました。工具のさしがねの裏目が√２倍になっていること等に、他の先生方も興味を持っていただき盛り上がりました。

回転体の授業では、パソコンソフトをプロジェクターで提示し指導される先生も多くいらっしゃると思います。私も同じように指導していましたが、生徒は、なんだか今ひとつ実感が湧かない様子。何かないかな…と思い、

何気に立ち寄った百円ショップで見つけたのは「七夕用の飾り」。クルッと回すと立体になる様に、市数研でも「わぁ」と歓声が上がりました。講座後、熊本大学の伊藤先生から、「正六面体のある点から面に沿って最短距離となる線を引くとき、その中で最も長くなるのはどの点と結ぶときか」という問題を出され、多面体の性質をトポロジー的発想での考察やグラフとしての見方から考えを深めていくことができる等、より発展した話題にもなりました。

３．髙木先生（東野中）の数学授業づくり講座２

前回の市数研で、大好評だった髙木先生の数学授業づくり講座が、さらにパワーアップして行われました。今回の内容は

（１）一学期中にやっておきたいこと　～生徒の意見を引き出す支援～
（２）考える力を育む指導
　　①論証へつなげる指導　　②系統を意識させる指導

について、話していただきました。

まず、（１）生徒の意見を引き出す支援ということで、新学習指導要領全面実施ということで、どの授業でも「言語活動」を取り入れた授業の在り方が問われていますが、高木先生も

２．日々の授業の話題から

事務局長の野田先生（江南中）より、今年度の活動計画についての説明が行われました。主な活動のみ左下に挙げてあります。来年度は熊本市で県数大会が開催されますので、定例会でも２学期以降は授業作りがメインになってきます。授業者も現在選考中ですが、授業者任せにするのではなく、数多くの先生方のご協力のもとで大会を作っていく必要があると思います。ぜひご協力をよろしくお願いします。

５．日々の授業の話題から

６．その他

７．諸連絡

・九数教大会の案内
・７月定例会は７月１４日（木）　江南中学校　１９：００～

８　まとめ

久しぶりに市数研に参加することができてとても楽しかったです。たくさんの方々に参加していただいて頼もしいかぎりです。ぜひ次回も参加してみんなで研修を深め

ていきたい。お世話になりました。

定例会への多数の先生方のご参加をお願いします！！
各学校から1名以上の参加をぜひともお願いします！！
特に若手の先生方、遠慮されずに参加して、市数研の底上げを図っていきましょう。主任の先生方、呼びかけをよろしくお願いします！！

文責　桜木中学校　佐々木　真